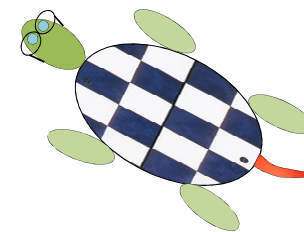


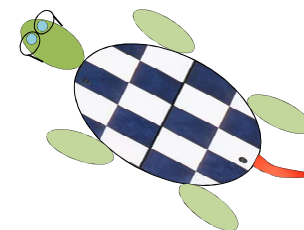
組立てキット

操作説明



Contents

- 0. 準備
- 1. 組立て部品
- 2. 組立てツール
- 3. 組立て例
- 4. 組立てエリア

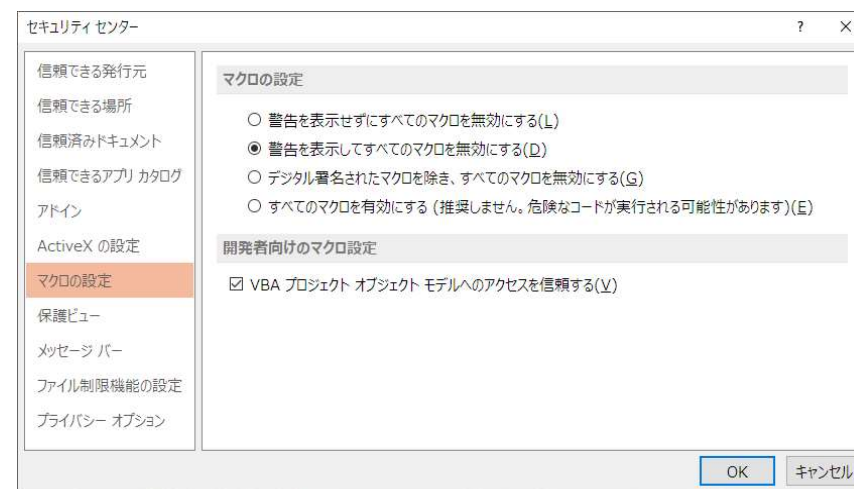
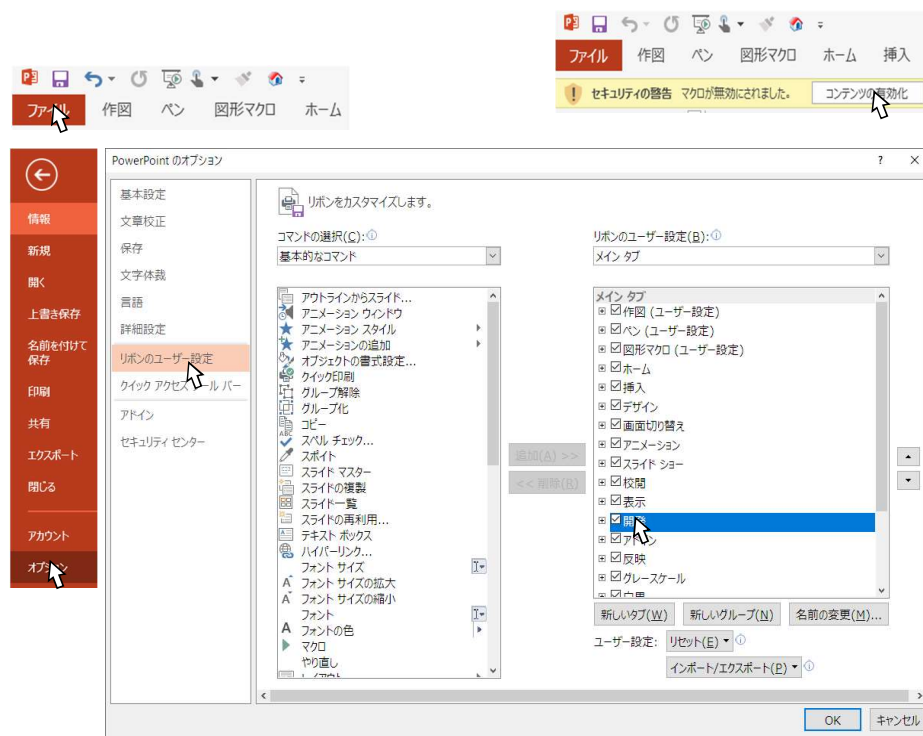


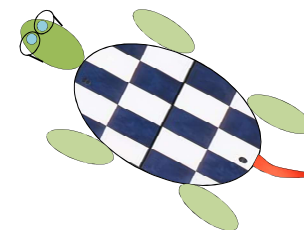
0. 準備

0-1 VBAマクロの有効化

「コンピュータ組立キット」には、「組立てツール」VBAマクロ(パワーポイントのプログラム)が付いています

- ・初めに、パワーポイントの設定で、VBAマクロを有効にしておきます。
- ・練習用の「組立てキット練習:亀泳堂」ファイルをクリックして立ち上げます。ここで、セキュリティの警告が出た場合は、コンテンツの有効化をクリックしてマクロを有効にします。
- ・「ファイル」-「オプション」-「リボンのユーザ設定」を選択して、「開発」にチェックを入れます。リボンに「開発」タブが追加されます。
- ・「開発」タブを開いて「マクロのセキュリティ」をクリックします
- ・ここで、「警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D)」が選択されているかチェックします。されていなければ選択します。
- ・なお、「コンピュータ組立てキット」のファイルを保存するときは、マクロ付きファイルの識別子「.pptm」で保存してください(もともとそうになっています)。



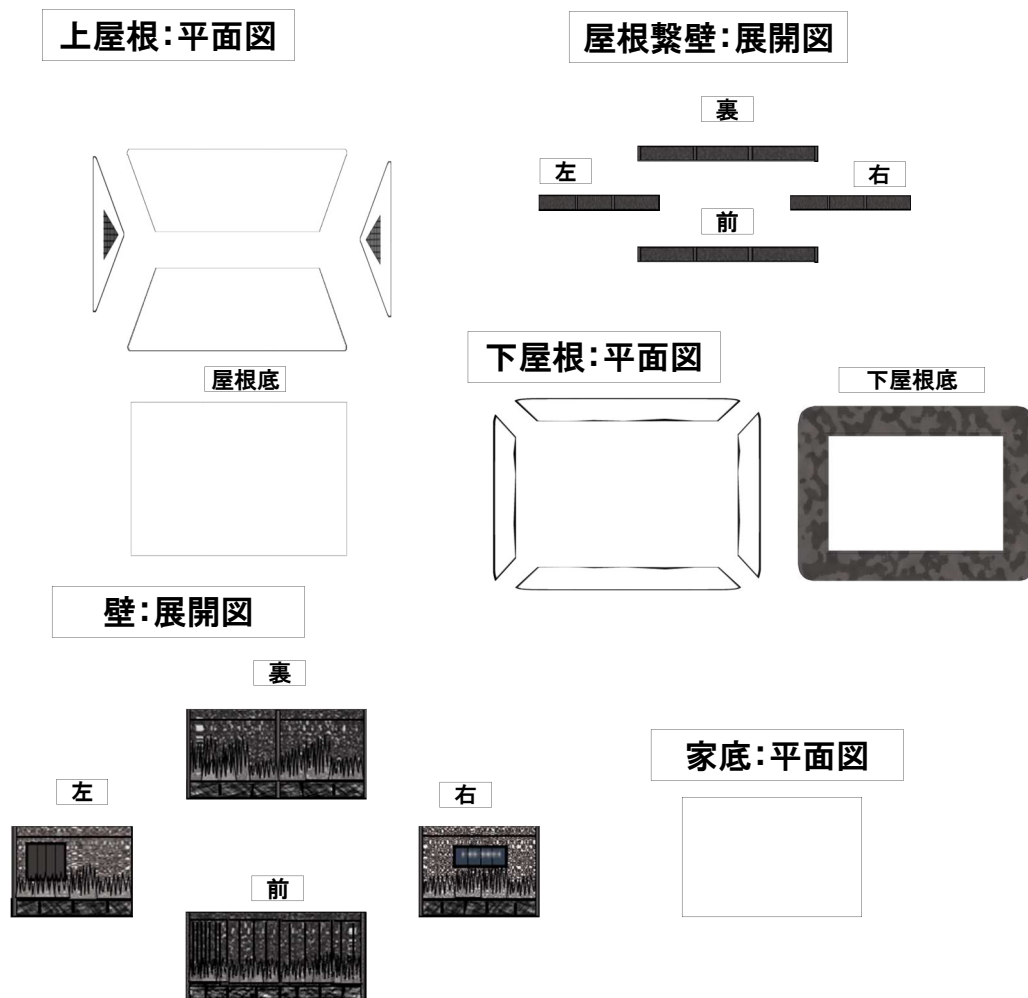


1. 組立て部品

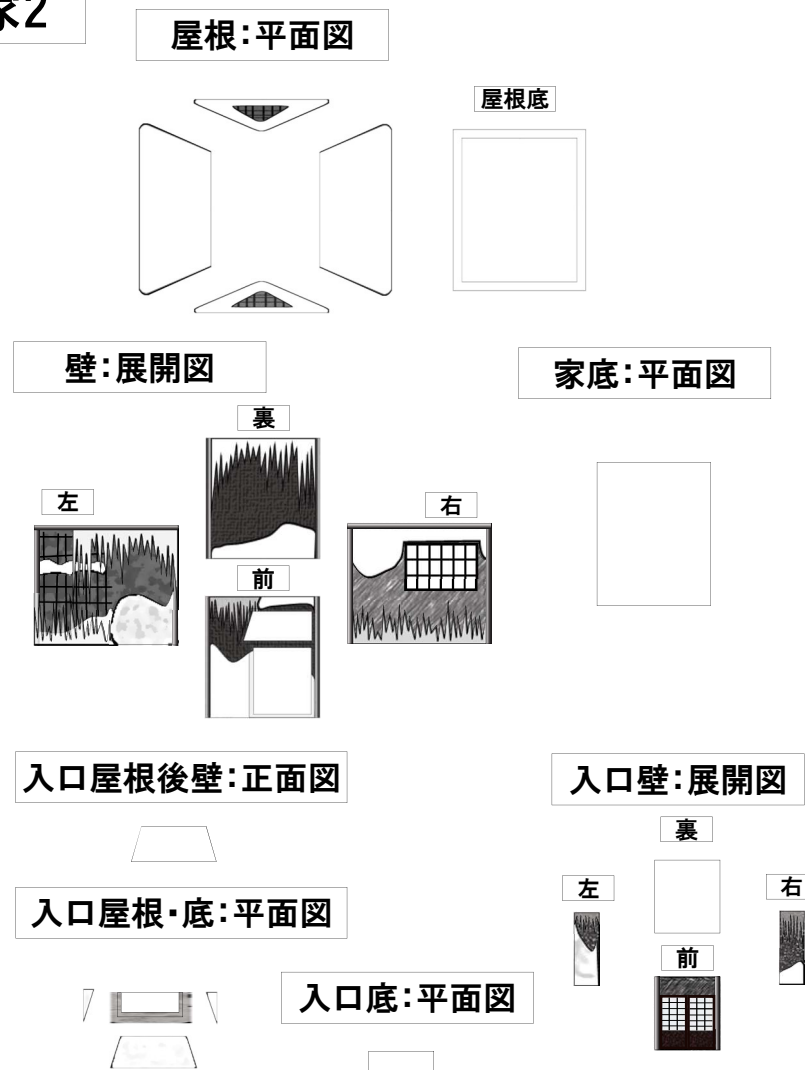
1-1 部品：家1、2(例)

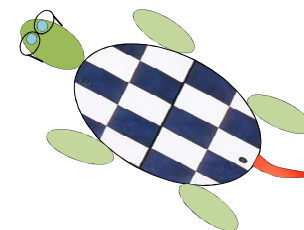
- ・部品は、「平面図」型、「正面図」型、「展開図」型の3種類の図形で提供されます。
- ・後で出てくる「組立てツール」を使って、この部品を組み立ててゆきます。

家1



家2





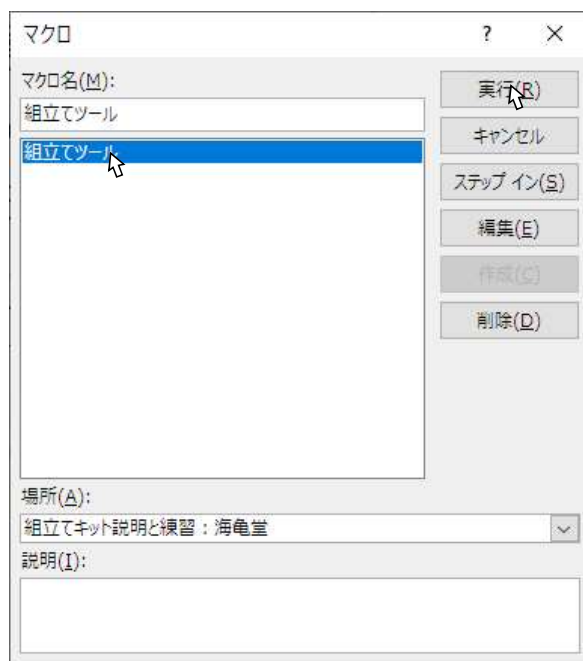
2. 組立て方法

2-1 組立てツールの起動

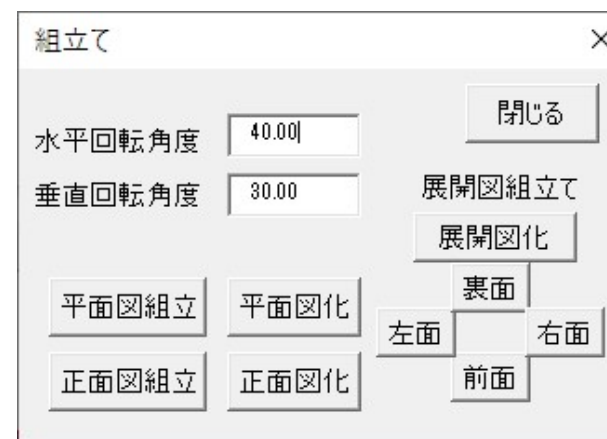
- ・「組立てツール」は、完成品の見え方の角度に合わせて、組立てる「部品」を回転させるものです。
- ・見え方の角度は任意に設定できます。

「組立てツール」の起動は、「開発」タブから行います

- ・「開発」タブを開いて「マクロ」をクリックします。
- ・出てきた画面で、「組立てツール」を選択して「実行」をクリックすると、「組立ツール」が起動して画面が出てきます。



「組立てツール」



2-2 組立てツールの機能と使い方

ツールの機能

- ・組立てる対象(家など)をどのような角度に回転させて見せるかを指定
- ・回転させる「部品」を選択(複数可)して使用
- ・水平方向と垂直方向の回転角度を「°」指定で入力(初期値:水平40°、垂直30°)
- ・水平回転角度は、正の値が右回り、負の値はその逆回り
- ・垂直回転角度は、正の値が手前回り、負の値はその逆回り

・ここをもってドラック

・ツールを閉じる

・回転した展開図の「部品」を元の展開図に戻す

・展開図の「部品」を指定した角度に回転
・「部品」の面に対応したボタンをクリック
するとその面に角度が変わる

・平面図の「部品」を指定した角度に回転

・回転した平面図の「部品」を元の平面図に戻す

・正面図の「部品」を指定した角度に回転

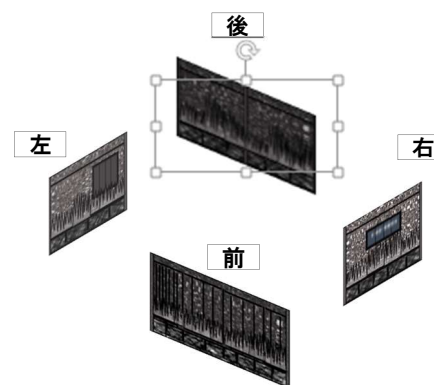
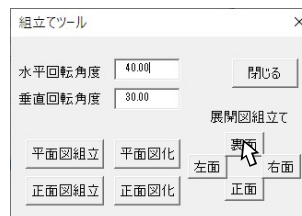
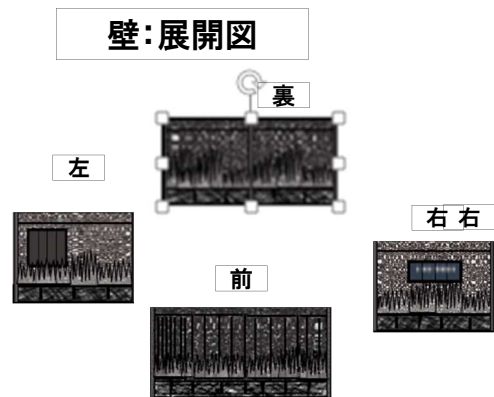
・回転した正面図の「部品」を元の正面図に戻す

・「xxx図化」のボタンは、「部品」の図面形式を間違えて回転してしまった際に、元に戻すのに使用します。
例:「部品:平面図」を正面図組立てで回転してしまった場合、正面図化で元に戻ります。

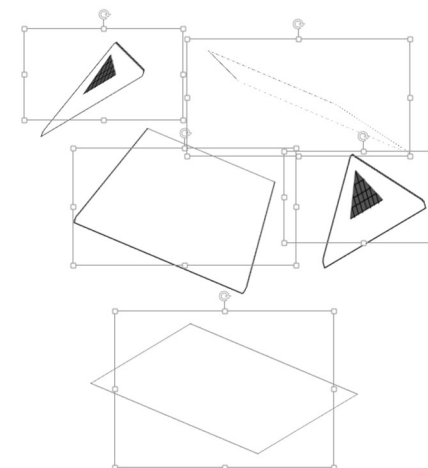
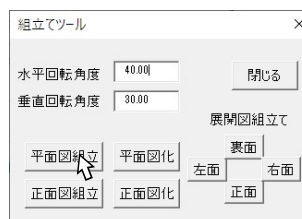
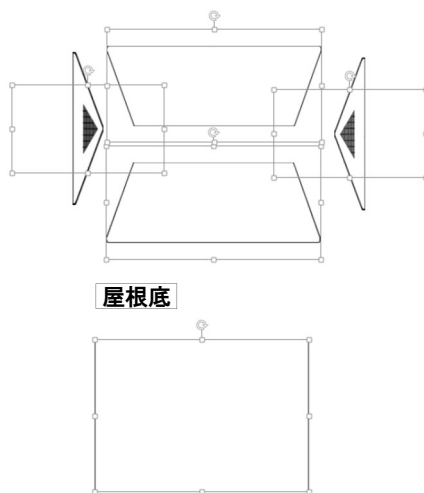
2-3 組立てツールの動作例

- ・組立てツールで「部品」を回転させた例です。

部品

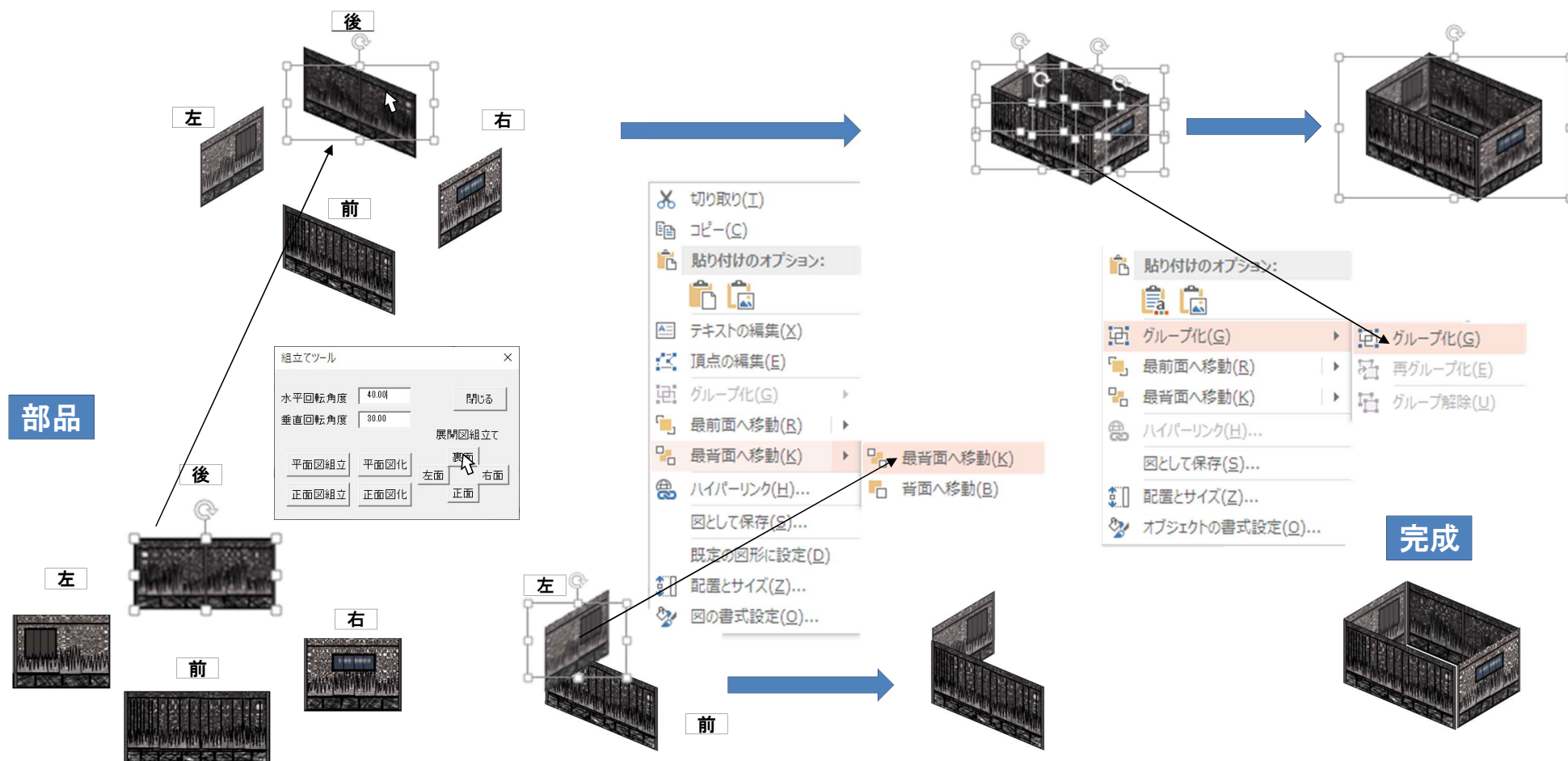


上屋根:平面図



2-4 組立て

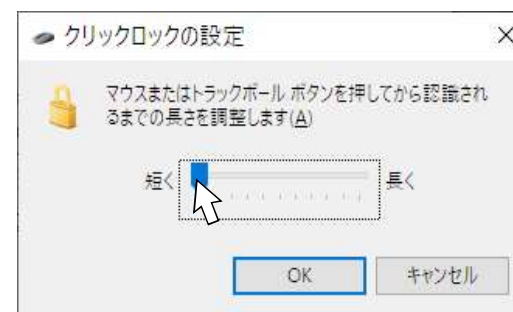
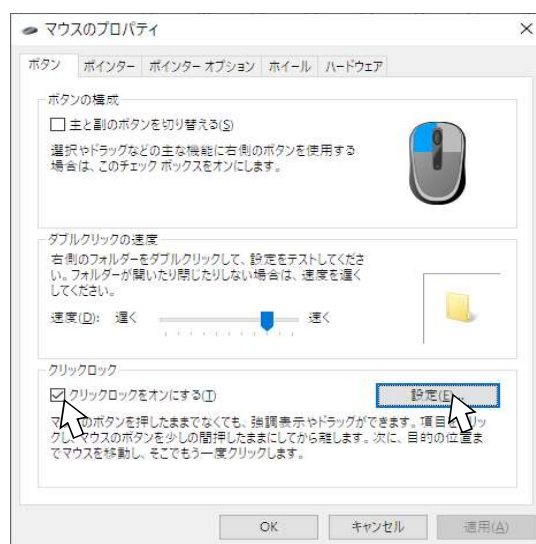
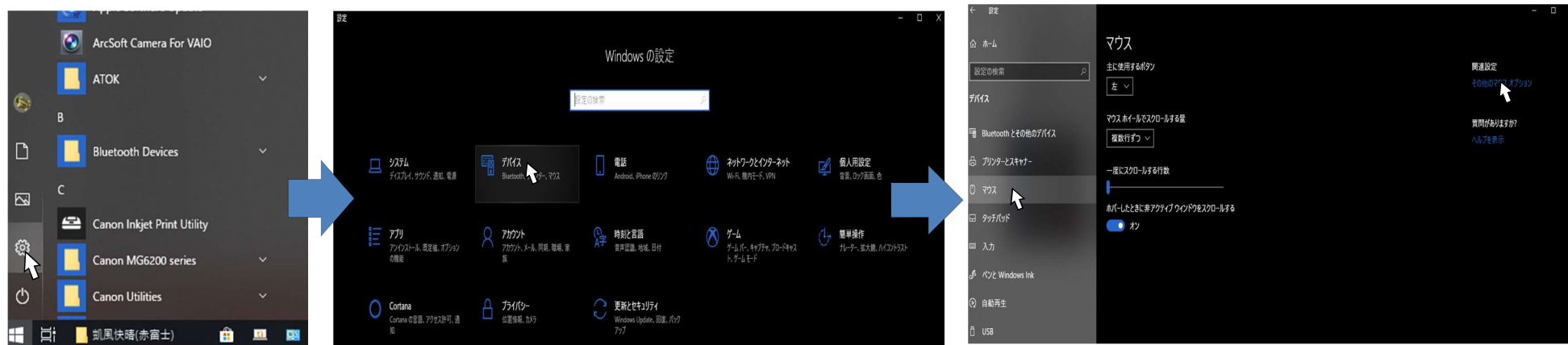
- ・組立てツールで回転させた各「部品」をドラックして対象の形(家など)になるように組立ててゆきます
- ・「部品」には、前面、背面といった見え方の重なりがあるので、背面になる部品から組立てゆきます
- ・前面、背面が逆になっていたら、「部品」を右クリックして適宜重なりを変更しながら組立てます
- ・適宜画面の大きさを見やすいように調整して進めます(Ctrl+スクロールホイールあるいは右下の倍率バーで調整)
- ・後の移動が容易になるように、対象の一部をグループ化(必要な「部品」をまとめて選択して右クリック)します



2-5 組立て【テクニック】:マウスの設定

【テクニック】:マウスの設定

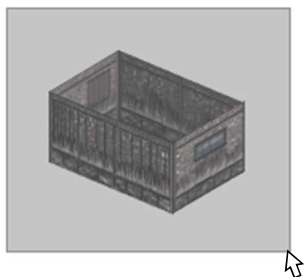
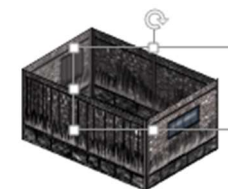
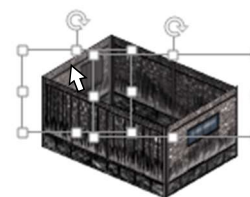
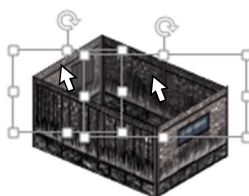
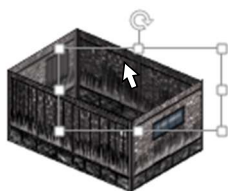
- ・図形を掴んでドラックする際に「左ボタン」を押せばなしにする通常の使い方では、段々指が疲れてきます
- ・「左ボタン」を放しても、図形を掴んだままになるように設定すると楽です
- ・図形にマウスポインタをセットして「左ボタン」長押し後、ボタンを放しても、図形を掴んだままになります
- ・そのままドラックして、位置を決めたら「左ボタン」をクリックして、図形を放します
- ・設定は以下のようにします



2-6 組立て【テクニック】:図形の選択

【テクニック】:図形の選択

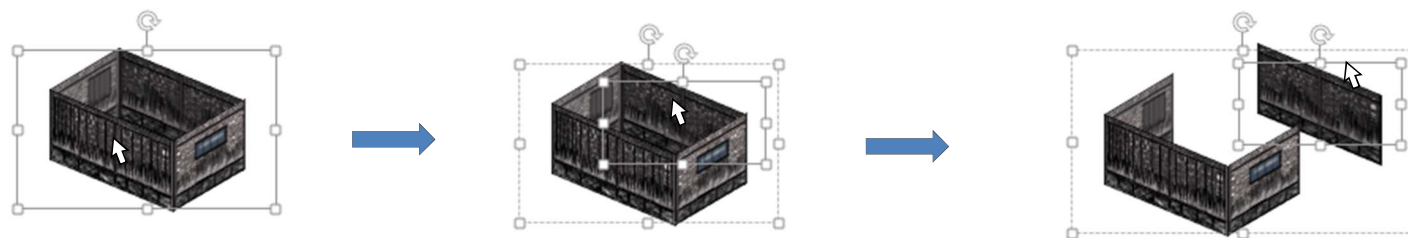
- ・図形の上にマウスポインタを置いてクリックすると選択できます
- ・Ctrl+クリックで、次々に複数の図形を選択できます
- ・選択した図形を再び、Ctrl+クリックすると、非選択にできます
- ・マウスのドラックで範囲を指定すると、その範囲の図形が選択できます



2-7 組立て【テクニック】:図形の移動

【テクニック】:グループ内の個々の図形の移動

- ・グループ化した図形は、グループのままでドラック(移動)出来ます
- ・場合によっては、グループ内のある図形だけをドラックしたいこともあります
- ・グループを選択(クリック)して、更にドラックしたい図形を選択(クリック)すると掴んでドラックすることができます




【テクニック】:図形の細かい移動

- ・図形をドラックで移動して組立てる際に、マウスでは難しい細かい移動をしたい場合があります
- ・移動したい図形を選択して、キーボードの矢印キーで移動したい方向に少しずつ移動できます

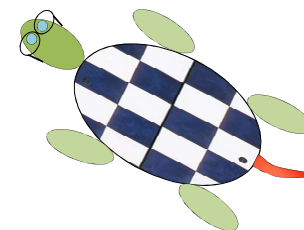


2-8 組立て【テクニック】:図形の色味の調整

【テクニック】:図形の色味の調整

- ・「部品」となる図形を「組立てツール」で回転させると、色が黒くなったり、白っぽくなったりすることがあります
- ・そんな時には、その図形を選択して「右」クリックします
- ・メニューの「図形の書式設定(O)」をクリックすると画面の右に図形の書式設定が出てきます
- ・「図形のオプション」-「」-[3-D回転]で出てくる「3D-書式」の「光源(L)」をクリックします
- ・選択肢「その他」のどれかを選んで行くと色味が変わります。適宜、見やすい(濃い)色に変更します



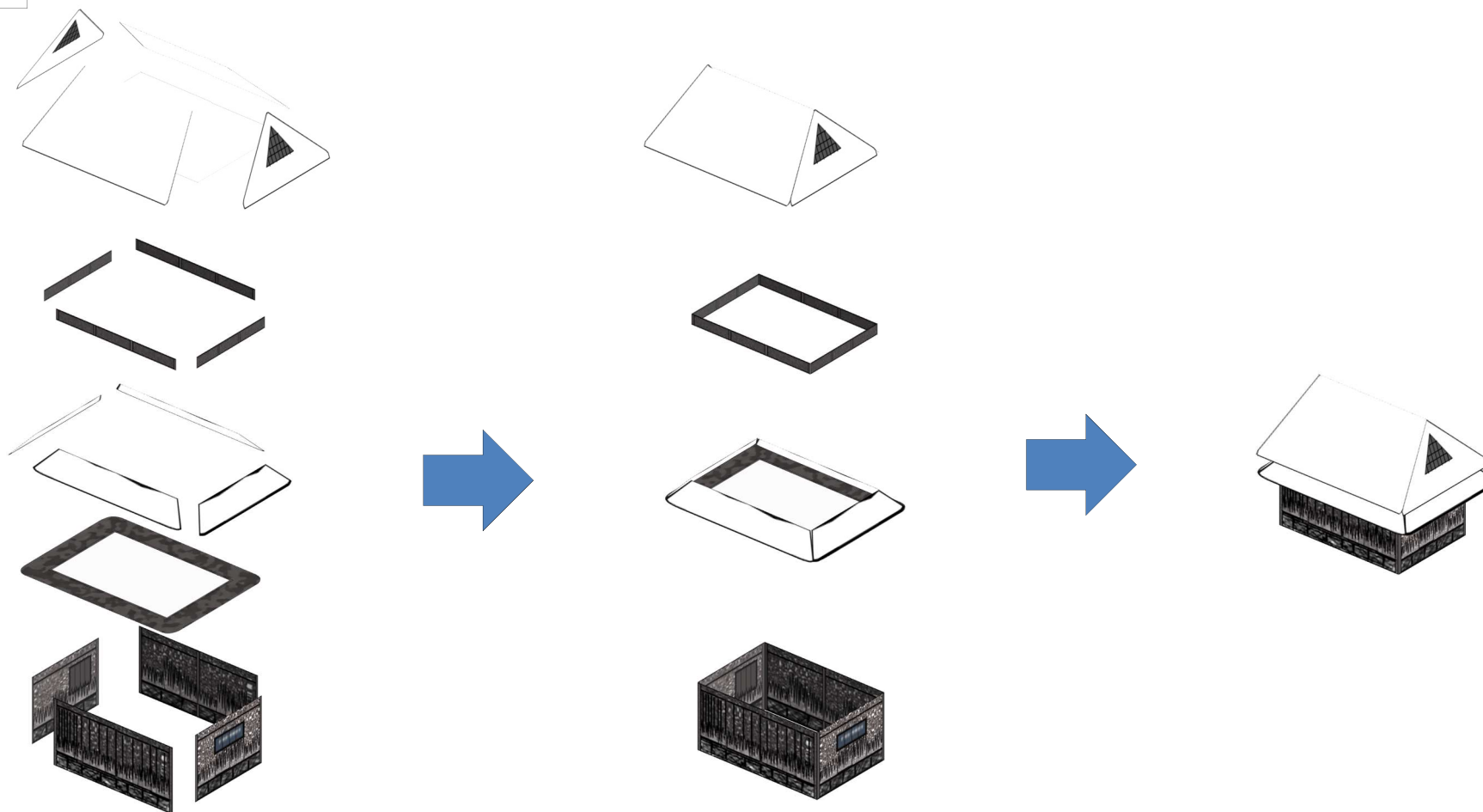


3. 組立て例

3-1 組立て例:家1

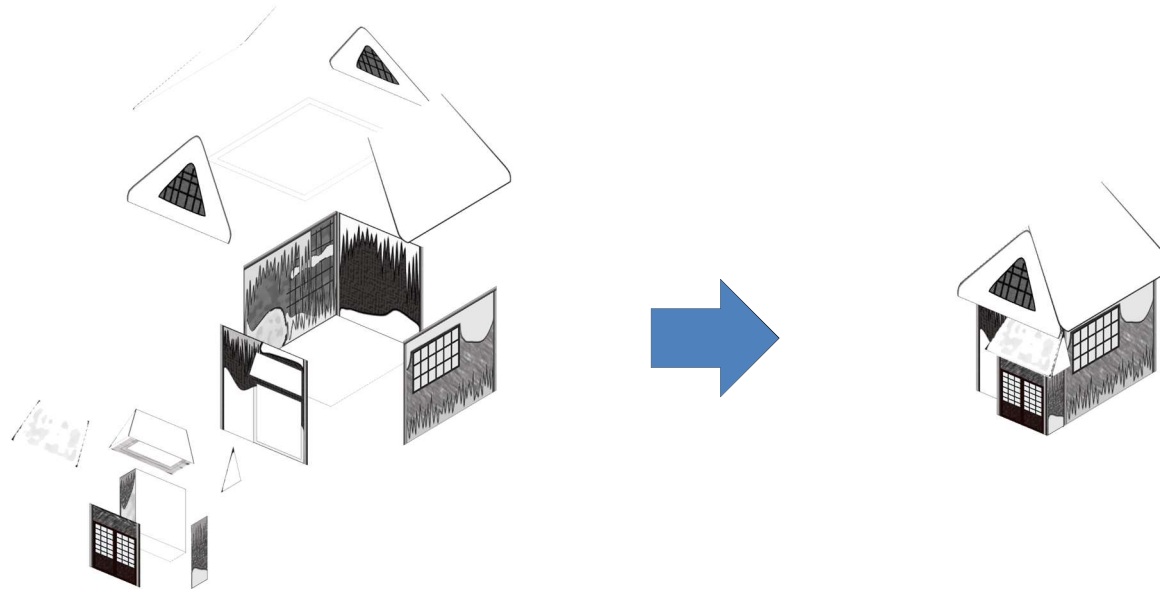
・組立てに当たっては、失敗や、訳が分からなくなった場合に備えて、元の「部品」をコピー＆ペーストして使用します

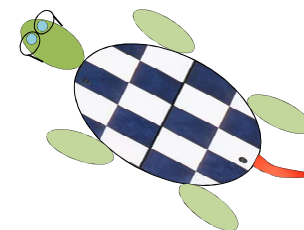
家1



- ・組立てに当たっては、失敗や、訳が分からなくなった場合に備えて、元の「部品」をコピー＆ペーストして使用します

家2

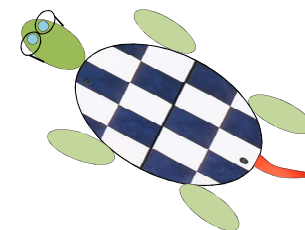




4. 組立てエリア

- ・組立てに当たっては、失敗や、訳が分からなくなった場合に備えて、元の「部品」をコピー＆ペーストして使用します

- ・空白のシートです
- ・ここに、元の「部品」をコピー＆ペーストして使用します
- ・好きな角度に「部品」を回転させ組立ててゆきます
- ・回転の角度は、一度決めたら変えてはいけません(ちゃんと組み立ちません)



組立てキット END

操作説明